

**2026年3月期
第3四半期決算**

説明資料

2026年2月4日(水)

2026年3月期 第3四半期決算概要

連結対象会社

項目	2025年3月期末 (A)	2026年3月期 第3四半期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結子会社数	34社	45社	11社	+ UBE URETHANES AUSTRALIA PTY LTD + UBE LATIN AMERICA LTDA. + UBE URETHANES CANADA LTD. + UBE China Holding Co., Ltd. + UBE Urethanes Nantong Co., Ltd. + Elfte LXS GmbH + LANXESS SOLUTIONS INDIA PRIVATE LIMITED + UBE URETHANES ITALY S.R.L. + UBE Urethanes Netherlands B.V. + UBE URETHANES UK LTD. + UBE URETHANES USA LLC
持分法適用会社数	17社	17社	—	
計	51社	62社	11社	

環境要因

項目			2025年3月期 第3四半期 (A)	2026年3月期 第3四半期 (B)	差 異 (B) - (A)
為替レート		円/\$	152.6	148.7	△ 3.9
資材 価格	ナフサ	CIF \$/t	703	611	△ 92
	国産	円/KL	76,400	64,800	△ 11,600
	豪州炭 (CIF)		161.0	137.8	△ 23.2
	円/t	24,564	20,489	△ 4,075	

主要項目

(単位:億円)

項目	2025年3月期 第3四半期 (A)	2026年3月期 第3四半期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	3,596	3,322	△ 275	△ 7.6%
EBITDA	303	350	47	15.5%
営業利益	95	145	50	52.0%
経常利益	130	303	174	133.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 191	211	402	—

セグメント変更

旧セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル 高機能コーティング エラストマー
機械	
その他	医薬 電力 販社等

新セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
高機能ウレタン (新規)	ウレタンシステムズ(新規) 高機能コーティング(異動)
医薬 (独立)	
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル エラストマー
機械	
その他	電力 販社等

セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

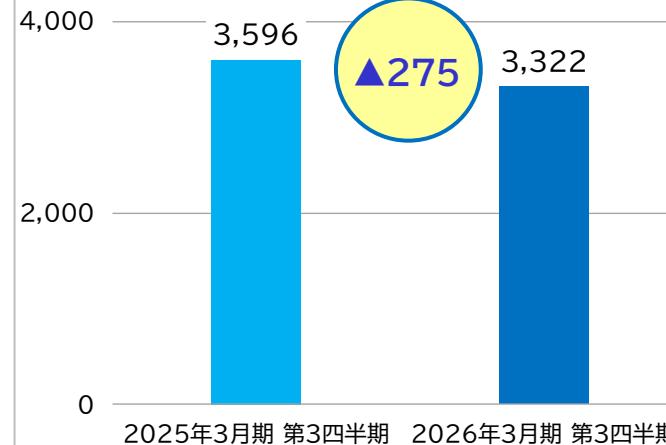
	セグメント	2025年3月期 第3四半期 (A)	2026年3月期 第3四半期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	機能品	475	449	△ 26	△ 5.5%
	高機能ウレタン	114	315	201	175.7%
	医薬	252	145	△ 107	△ 42.3%
	樹脂・化成品	2,039	1,846	△ 193	△ 9.5%
	機械	624	467	△ 157	△ 25.1%
	その他	295	255	△ 40	△ 13.5%
	調整額	△ 204	△ 157	47	-
	計	3,596	3,322	△ 275	△ 7.6%
営業利益	機能品	71	67	△ 4	△ 5.1%
	高機能ウレタン	1	△ 14	△ 15	-
	医薬	9	△ 9	△ 18	-
	樹脂・化成品	△ 24	81	105	-
	機械	49	39	△ 11	△ 21.4%
	その他	16	16	0	0.2%
	調整額	△ 27	△ 34	△ 7	-
	計	95	145	50	52.0%

(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分に変更しています。
なお、2025年3月期第3四半期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

差異分析 全社

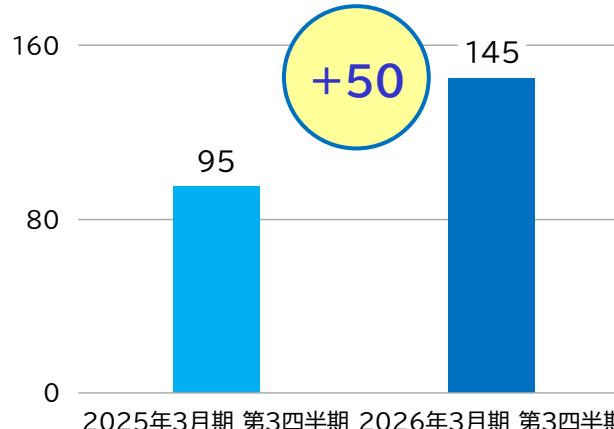
(単位:億円)

売上高



機能品	△ 26
高機能ウレタン	201
医薬	△ 107
樹脂・化成品	△ 193
機械	△ 157
その他	△ 40
調整額	47

営業利益



機能品	△ 4
高機能ウレタン	△ 15
医薬	△ 18
樹脂・化成品	105
機械	△ 11
その他	0
調整額	△ 7

定性情報

売上高:減収

- ・ 高機能ウレタン : 2025年4月にウレタンシステムズ事業を取得
- ・ 樹脂・化成品 : ナイロンポリマー、カプロラクタム等の販売が低迷
- ・ 機械 : 前年度第3四半期に製鋼事業の経営権を他社へ譲渡し、連結対象から除外

営業利益:増益

- ・ 樹脂・化成品 : アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの減損損失を前期に計上したことによる減価償却費の減少
: アンモニア工場が非定期修理年
: エラストマーの原料価格が下落

営業利益差異

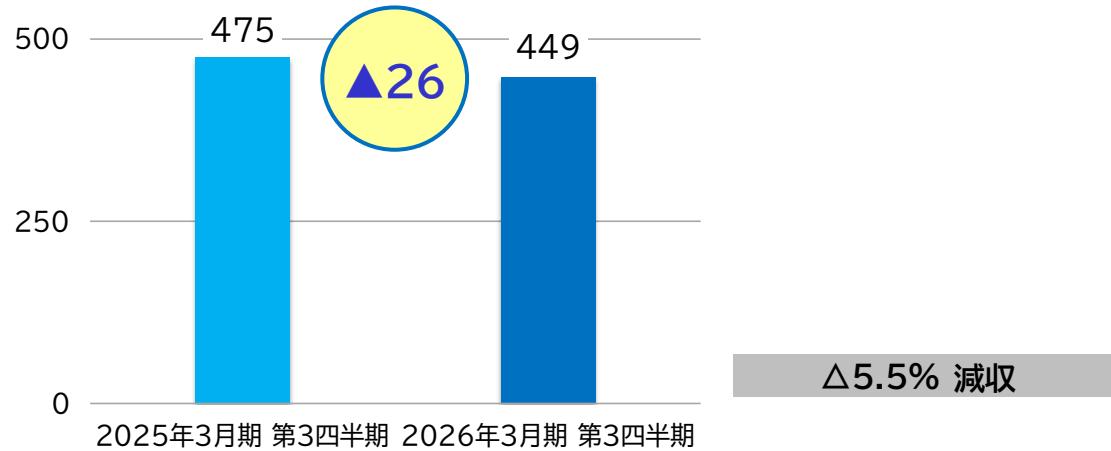
価格差 ※1	60
数量差	△ 33
固定費ほか ※2	23
計	50

※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む

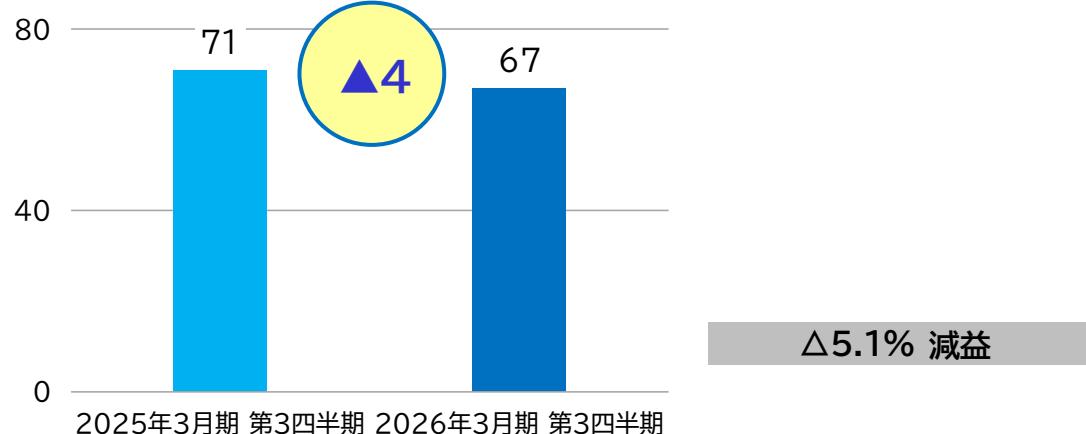
差異分析 機能品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ・ポリイミド : フィルムの販売は前年同期並みを維持したものの、当社品が採用されているスマートフォンの販売減少の影響等によりワニスが低調
- ・分離膜 : 窒素膜は堅調であったものの、バイオメタン製造向け脱炭酸膜が一部顧客で在庫調整等の影響が継続
- ・セラミックス : 電動車市場の成長鈍化により軸受・基板用途の販売が低迷
- ・セパレータ : ハイブリッド自動車向けの需要増加等に伴い販売数量が増加

営業利益:減益

- ・ポリイミド、分離膜、セラミックスの販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1 18

数量差 △ 17

固定費ほか ※2 △ 5

計 △ 4

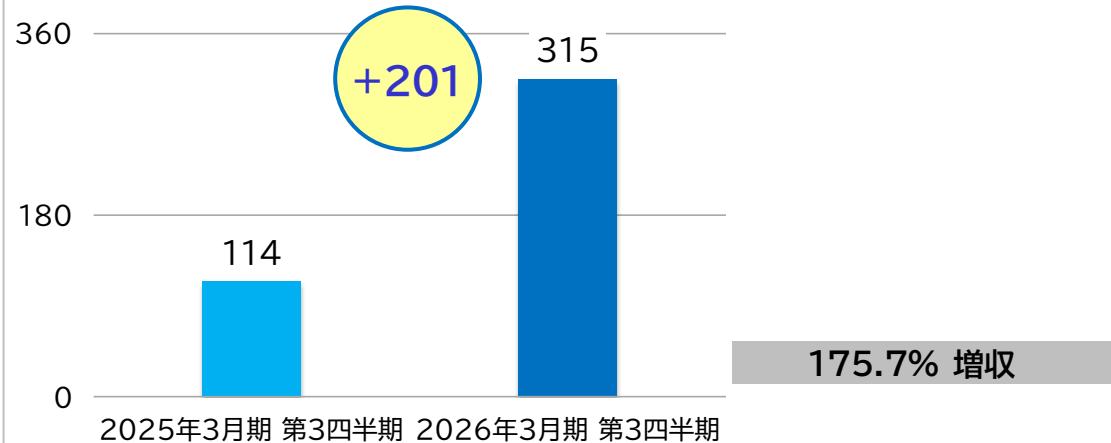
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

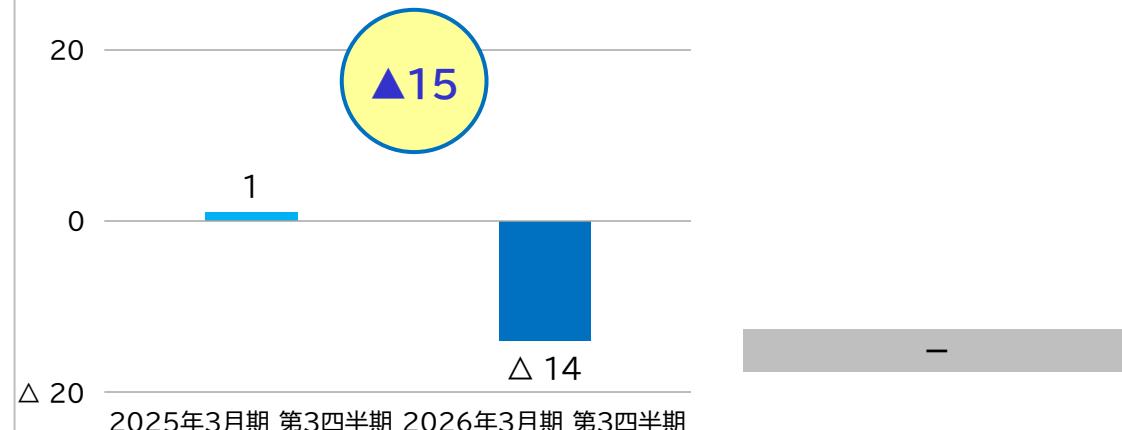
差異分析 高機能ウレタン

(单位: 億円)

壳上高



營業利益



定性情報

壳上高:增收

- ・ **ウレタンシステムズ** : 2025年4月に事業取得。当事業を担う各社が12月決算であるため、4-9月の6ヵ月間の業績が第3四半期累計期間の損益に反映。堅調な米国事業に注力。

營業利益: 減益

- ・ ウレタンシステムズ事業取得後の統合(PMI)費用を計上
- ・ 高機能コーティングの販売が低調

營業利益差異

価格差 ×1 △6

数量差 $\triangle 1$

固定費ほか ※? △8

計 A 15

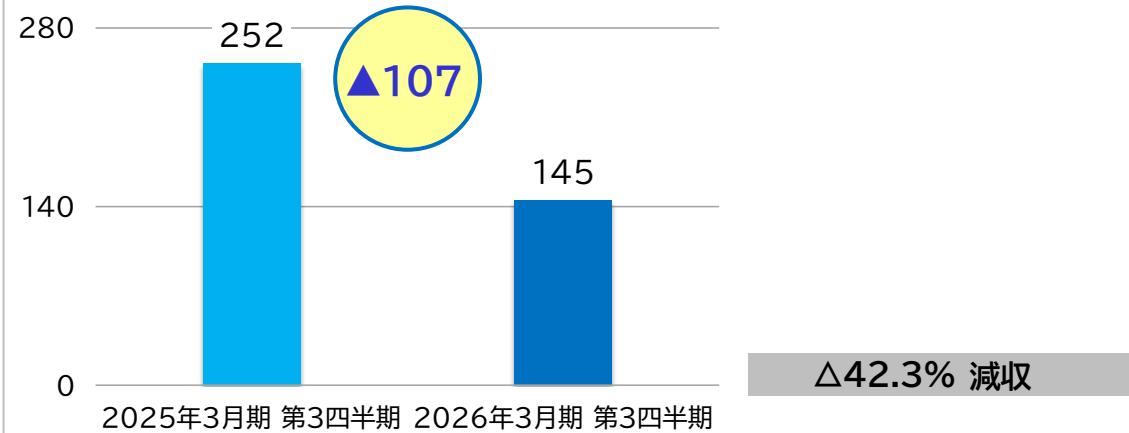
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

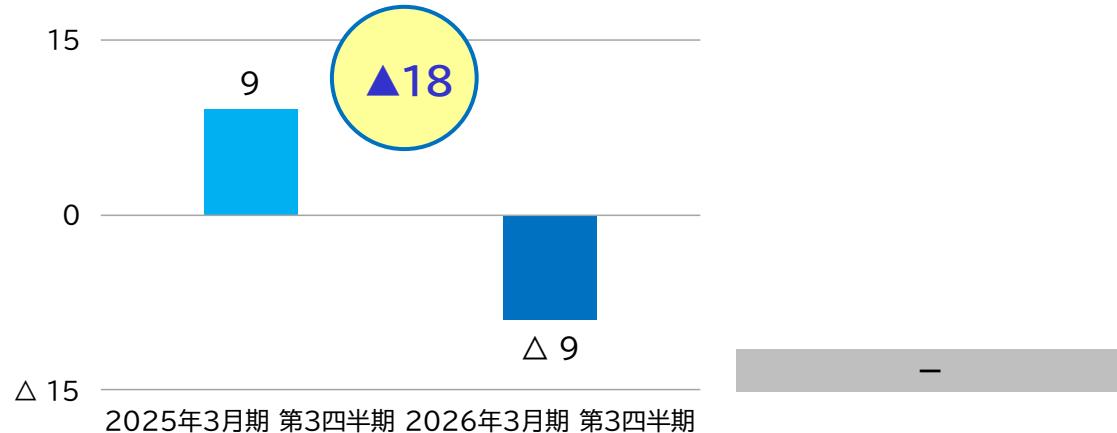
差異分析 医薬

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 受託品の販売数量が減少

営業利益:減益

- 受託品の販売数量が減少

営業利益差異

価格差	※1	3
数量差		△ 30
固定費ほか	※2	9
計		△ 18

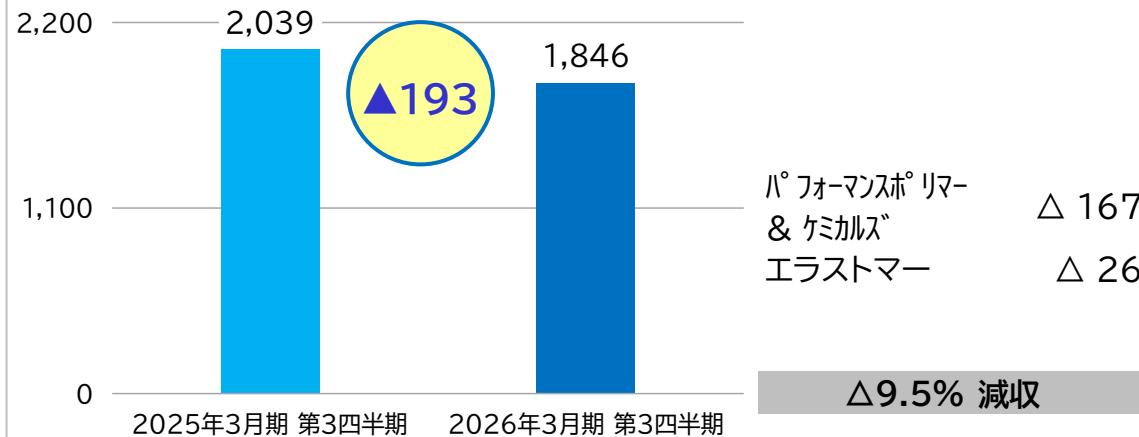
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

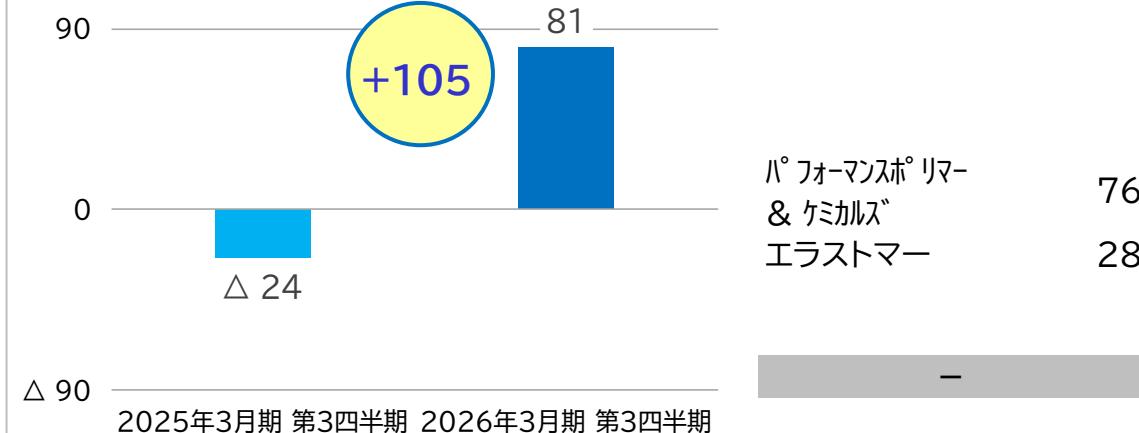
差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ナイロンポリマー : 海外での食品包装フィルム用途等の需要低迷による販売数量減少、販売価格下落
- ラクタム・硫安 : 競争激化による販売数量減少、販売価格下落

営業利益:増益

- アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの減損損失を前期に計上したことによる減価償却費の減少
- アンモニア工場が非定期修理年であるため、補修費が減少し、販売数量も増加
- エラストマーの原料価格が下落

営業利益差異

価格差 ※1	53
数量差	14
固定費ほか ※2	38
計	105

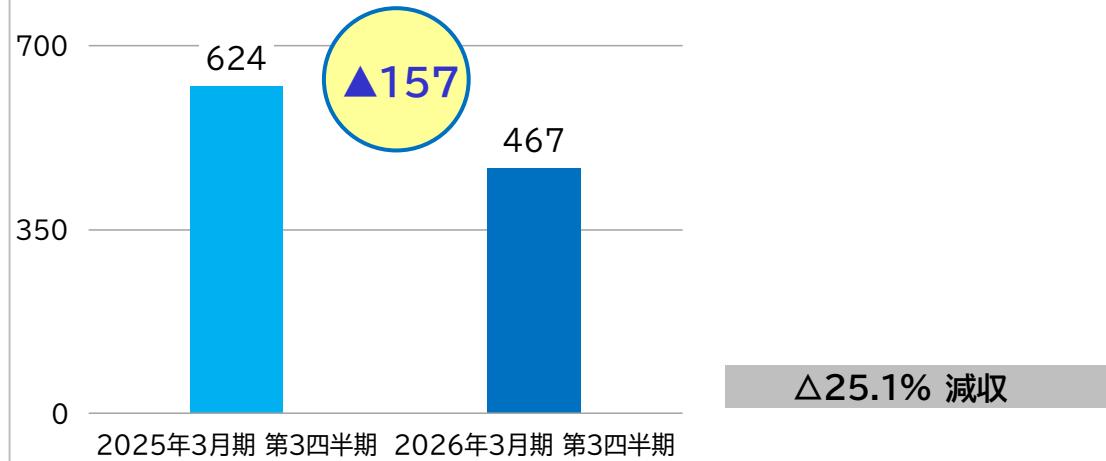
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

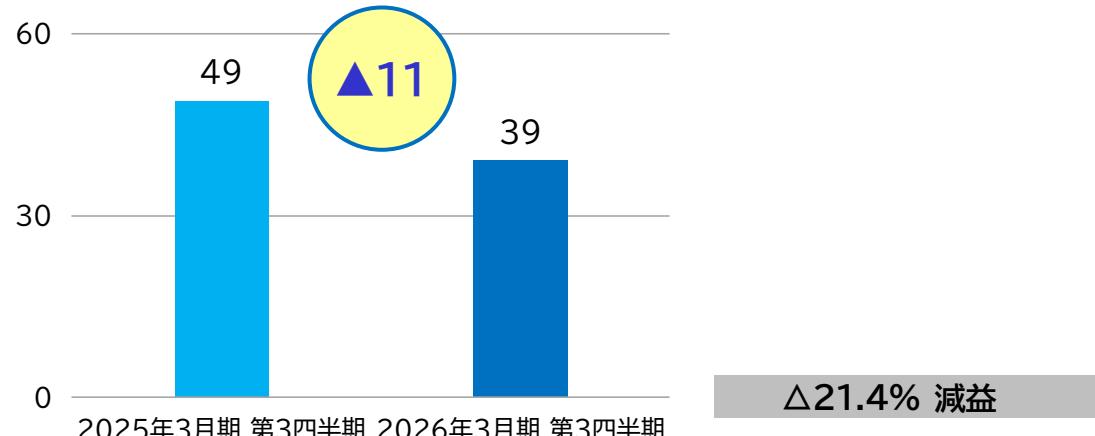
差異分析 機械

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 前年度第3四半期に製鋼事業の経営権を他社へ譲渡し、連結対象から除外

営業利益:減益

- 成形機事業の製品販売が低調に推移
- 産機事業の製品販売が減少

営業利益差異

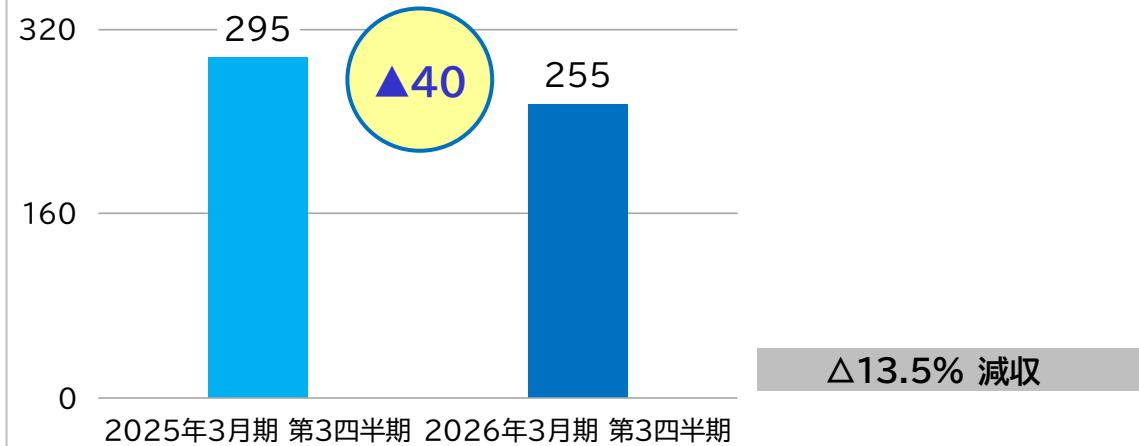
機械部門限界利益 △31

(機械製品は個別受注生産のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

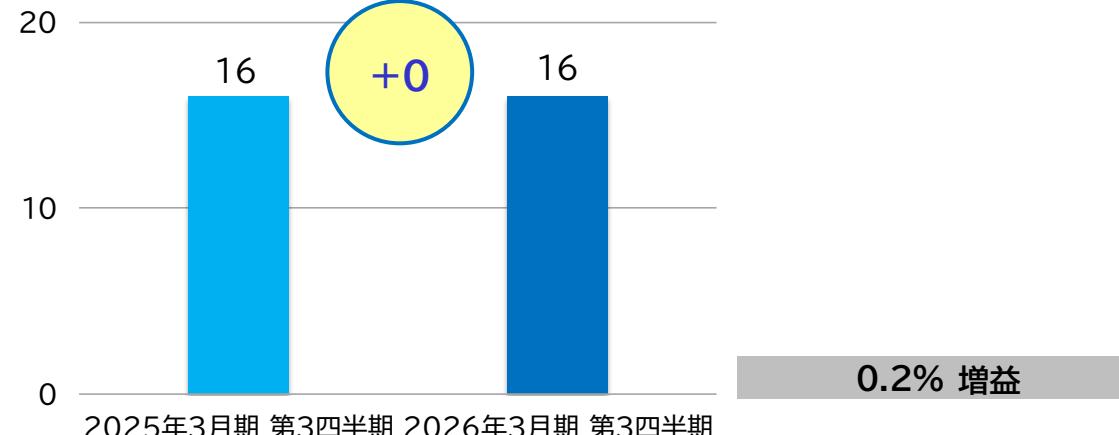
差異分析 その他

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 電力 : 石炭価格の下落に伴い売電価格が下落

営業利益:増益

- 自家発電所が非定期修理年であるため補修費が減少

営業利益差異

価格差 ※1 △ 8

数量差 2

固定費ほか 7

計 0

※1:資材単価差含む

営業利益～四半期純利益

(単位:億円)

項目	2025年3月期 第3四半期 (A)	2026年3月期 第3四半期 (B)	差 異 (B) - (A)
営業利益	95	145	50
営業外損益	34	159	124
金融収支	△ 1	△ 17	△ 16
持分法投資損益	54	128	74
うちUBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	129	105	△ 24
為替差損益	2	39	37
その他	△ 21	9	30
経常利益	130	303	174
特別損益	△ 360	△ 22	338
税金等調整前四半期純利益	△ 230	282	511
法人税等・非支配株主利益	39	△ 71	△ 109
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 191	211	402
1株当たり四半期純利益	△ 196.93円	216.99円	413.92円

貸借対照表

(単位:億円)

項目		2025年3月期末 (A)	2026年3月期 第3四半期末 (B)	差 異 (B) - (A)
資産	流動資産	3,584	3,196	△ 387
	固定資産	5,076	6,096	1,020
	合 計	8,662	9,295	633
負債	有利子負債	3,305	3,603	298
	その他負債	1,234	1,256	22
	計	4,539	4,859	321
純資産	自己資本 *	3,951	4,248	297
	非支配株主持分他	172	187	15
	計	4,123	4,435	312
負債・純資産合計		8,662	9,295	633

*「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

(注) 2026年3月期第3四半期連結会計期間において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

項目	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	
A.営業活動によるCF	54	325	税金等調整前四半期純利益 282 減価償却費 190 持分法による投資損益 △128 他
B.投資活動によるCF	△ 574	△ 1,175	有形・無形固定資産の取得 △511 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 △715 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 520	△ 850	
C.財務活動によるCF	442	158	有利子負債の増減 272 配当金の支払 △114 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 62	△ 652	
E.現金及び現金同等物の四半期末残高	296	502	

參考資料

通期予想 セグメント別 上期・下期 内訳

(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	上期実績	下期予想	通期	上期実績	下期予想	通期
機能品	298	392	690	43	82	125
高機能ウレタン	170	335	505	△ 6	16	10
医薬	105	125	230	△ 5	5	0
樹脂・化成品	1,185	1,385	2,570	42	53	95
機械	298	442	740	19	46	65
その他	167	188	355	10	5	15
調整額	△ 96	△ 94	△ 190	△ 21	△ 39	△ 60
計	2,127	2,773	4,900	83	168	250

主要項目 進捗率

(単位:億円)

項目	2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)		差 異 (B) - (A)	第3四半期実績
		第3四半期実績 (進捗率)	第3四半期実績 (進捗率)		
売上高	4,868	3,596 (73.9%)	4,900	32	△ 275
EBITDA	455	303 (66.6%)	550	95	47
営業利益	180	95 (52.8%)	250	70	50
経常利益	224	130 (58.0%)	375	151	174
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△ 48	△ 191 (-%)	275	323	402

売上高 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					累計	通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
機能品	150	148	151	—	449	690	65.1%	
高機能ウレタン	32	139	145	—	315	505	62.4%	
医薬	43	62	41	—	145	230	63.2%	
樹脂・化成品	597	588	661	—	1,846	2,570	71.8%	
機械	145	153	170	—	467	740	63.2%	
その他	86	81	89	—	255	355	71.9%	
調整額	△ 48	△ 48	△ 61	—	△ 157	△ 190	—%	
計	1,005	1,122	1,194	—	3,322	4,900	67.8%	

営業利益 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					累計	通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
機能品	19	24	24	—	67	125	53.5%	
高機能ウレタン	△ 4	△ 1	△ 8	—	△ 14	10	—%	
医薬	△ 6	1	△ 4	—	△ 9	0	—%	
樹脂・化成品	13	29	39	—	81	95	85.1%	
機械	11	8	20	—	39	65	59.4%	
その他	5	5	6	—	16	15	106.1%	
調整額	△ 8	△ 12	△ 14	—	△ 34	△ 60	—%	
計	30	53	62	—	145	250	58.0%	

売上高 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期 第2四半期 (A)	2026年3月期 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	148	151	2	
高機能ウレタン	139	145	6	
医薬	62	41	△ 21	
樹脂・化成品	588	661	73	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 74 エラストマー △ 0
機械	153	170	17	
その他	81	89	8	
調整額	△ 48	△ 61	△ 13	
計	1,122	1,194	72	

営業利益 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期 第2四半期 (A)	2026年3月期 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	24	24	1	
高機能ウレタン	△ 1	△ 8	△ 7	
医薬	1	△ 4	△ 5	
樹脂・化成品	29	39	10	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 14 エラストマー △ 4
機械	8	20	11	
その他	5	6	0	
調整額	△ 12	△ 14	△ 1	
計	53	62	10	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位:億円)

	ポートフォリオ	2025年3月期 第3四半期 (A)	2026年3月期 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)
売上高	スペシャリティ事業	1,348	1,391	44
	構造改革事業	1,485	1,352	△ 133
	機械事業	624	467	△ 157
	その他(調整額を含む)	139	111	△ 28
	計	3,596	3,322	△ 275
営業利益	スペシャリティ事業	170	148	△ 22
	構造改革事業	△ 100	△ 20	79
	機械事業	49	39	△ 11
	その他(調整額を含む)	△ 24	△ 22	2
	計	95	145	50

(注) 2026年3月期より、ポートフォリオ区分を変更しています。なお、2025年3月期第3四半期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

UBE三菱セメント

■UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

(単位:億円)

項目	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	2026年3月期 通期予想 ^{*1}
売上高	国内事業	2,873	2,779
	海外事業	1,440	1,263
	計	4,313	4,042
			5,400 (5,400)
営業利益	国内事業	151	199
	海外事業	280	207
	計	431	405
			510 (510)
経常利益		450	425
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		248	202
			220 (260)

■UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資利益	129	105
------------	-----	-----

■UBE三菱セメント(株) 定量情報

項目	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	2026年3月期 通期予想 ^{*1}
セメント(国内)総需要 (万t)	2,515	2,339	3,100 (3,100)
セメント(国内)販売数量 (万t)	596	569	742 (748)
セメント(米国)販売数量 (万st)	124	113	152 (158)
生コン(米国)販売数量 (万cy)	490	431	556 (583)
一般炭価格(参考指標) ^{*2} (\$/t)	138	106	108 (112)
ドル為替レート (円/ドル)	153	149	149 (148)

*1 ()内は2025年11月7日に公表した数値。

*2 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考)2026年3月期 第3四半期末 連結貸借対照表

(単位:億円)

総資産	8,347	有利子負債	1,880	自己資本	3,720
自己資本比率	44.6%	D/Eレシオ	0.51倍		

- 国内事業: 1Qでの電力事業における定修等の影響はあるものの、セメント値上げや熱エネルギーコスト低下の効果により、国内事業全体では対前年同期で減収増益となった。4Qも、引き続きセメント事業が利益面で堅調に推移する見込みであり、通期では対前年度で減収増益を見込む。
- 海外事業: 米国事業は、金利高止まり等を背景とした需要低迷が続いたことにより、対前年同期で減収減益となった。豪州石炭事業は、販売価格下落の影響により、対前年同期で減収減益となった。通期においても、3Qまでと同様の事業環境が続く見通しであり、米国・豪州ともに対前年度で減収減益を見込む。
- 九州工場苅田第二地区リサイクル拠点化に伴う減損損失46億円を特別損失として計上。

連結主要指標

(単位:億円)

項目	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	2026年3月期通期 <予想>	2025年3月期通期
設備投資	412	454	860	607
減価償却費	206	190	270	272
研究開発費	73	85	125	99
事業利益 *	159	280	420	270
有利子負債残高	2,673	3,603	3,800	3,305
自己資本	3,871	4,248	4,100	3,951
総資産	7,930	9,295	9,500	8,662

D/Eレシオ(倍)	0.69	0.85	0.93	0.84
自己資本比率(%)	48.8	45.7	43.2	45.6
売上高営業利益率(%)	2.7	4.4	5.1	3.7
総資産事業利益率(%)	—	—	4.6	3.3
自己資本当期純利益率(%)	—	—	6.8	△ 1.2
投下資本利益率(%)	—	—	4.4	3.0

* 事業利益: 営業利益+受取利息・受取配当金+持分法による投資損益

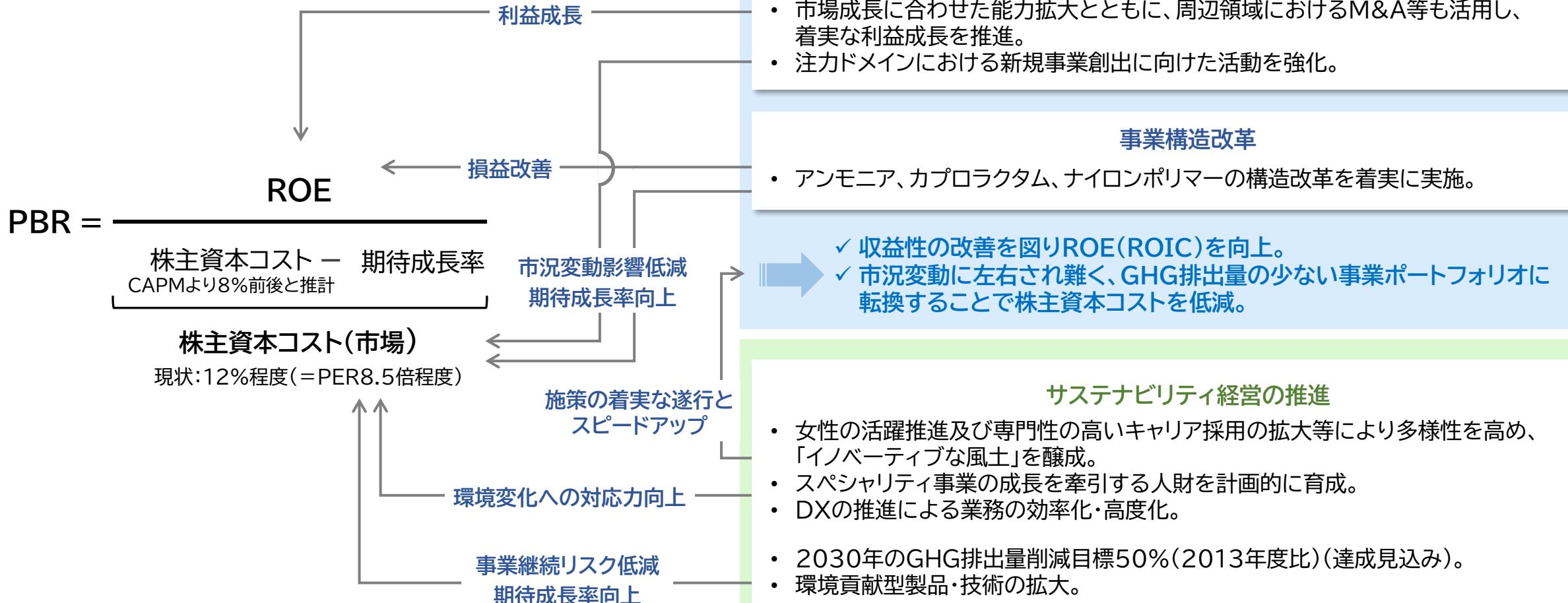
(注) 2026年3月期第3四半期連結会計期間において、マテリアルリサイクル樹脂製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

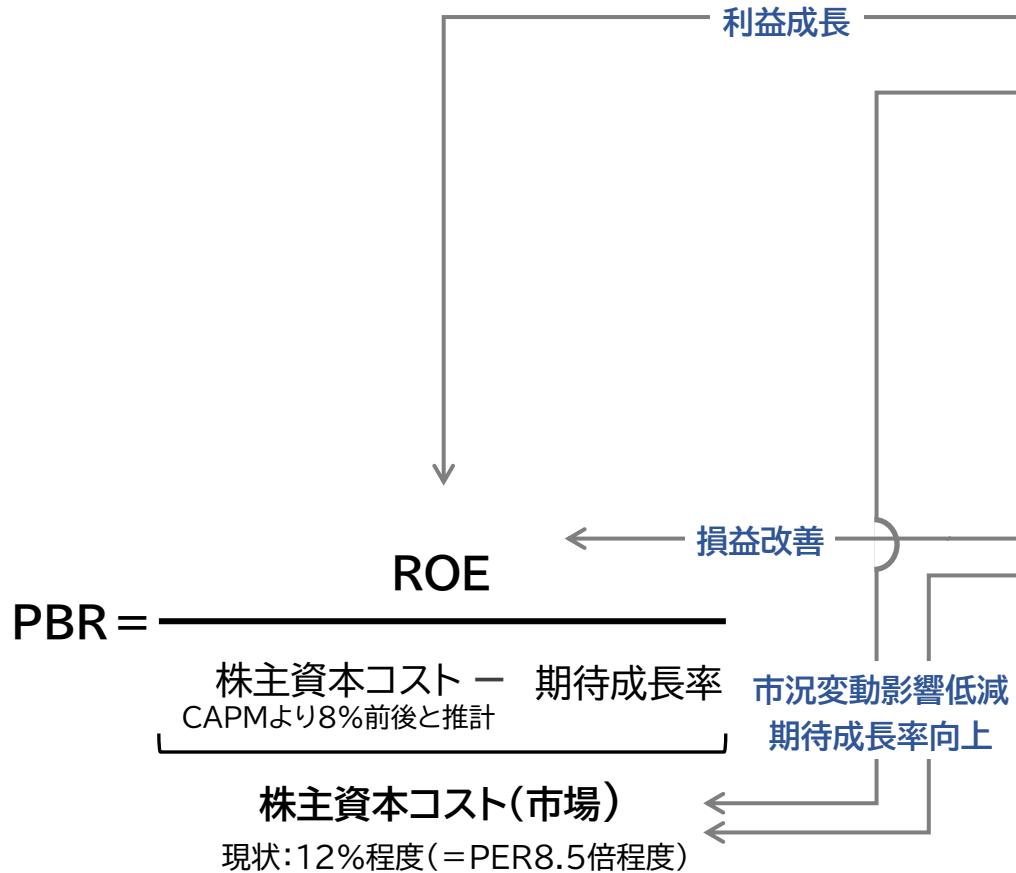
主要連結子会社

(単位:億円)

会社名	事業内容	売上高 2026年3月期 第3四半期	営業利益 対2025年3月期 第3四半期
UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安、高機能コーティング等の製造・販売	414	↑
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安の製造・販売	284	↓
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン(合成ゴム)の製造・販売	171	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	81	↑
宇部エクシモ株式会社	電子・情報通信関連製品等の製造・販売	93	↑
UBEマシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売 成形機、産業機械のアフターサービス	339	↓

(注) ↑ ↓ は1億円以上の増減を示す





スペシャリティ事業の拡大

- 市場成長に合わせた能力拡大とともに、周辺領域におけるM&A等も活用し、着実な利益成長を推進。
- 注力ドメインにおける新規事業創出に向けた活動を強化。

設備投資・投融資	能力	状況
✓ ポリイミド フィルム製造設備	20%増	認証取得後、速やかに営業運転開始予定
✓ 分離法 中空糸、モジュール製造設備	80%増	2025年11月営業運転開始済み
✓ セラミックス セラミックス製造設備	50%増	プラント建設中
✓ セパレータ セパレータ製造設備	30%増	プラント建設中
✓ C1ケミカル 米国DMC・EMC工場建設	10万トン/4万トン	プラント建設中
✓ ウレタンシステムズ 事業取得	-	2025年4月1日取得

事業構造改革

- アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの構造改革を着実に実施。

施策	決定状況
✓ タイ カプロラクタム	2026年3月に生産停止(従来は“2027年3月まで”)
	ナイロンポリマー
✓ 日本 カプロラクタム	2026年3月に生産縮小(従来は“2027年3月まで”)*
	ナイロンポリマー
アンモニア	2027年3月に生産停止
	2028年3月に生産停止

*現状の2系列を1系列に縮小

➡ **✓ 収益性の改善を図りROE(ROIC)を向上。**
✓ 市況変動に左右され難く、GHG排出量の少ない事業ポートフォリオに転換することで株主資本コストを低減。

$$PBR = \frac{ROE}{\text{株主資本コスト} - \text{期待成長率}}$$

ROE

株主資本コスト(市場)
現状:12%程度(=PER8.5倍程度)

↑
環境変化への対応力向上

事業継続リスク低減
期待成長率向上

サステナビリティ経営の推進

- 女性の活躍推進及び専門性の高いキャリア採用の拡大等により多様性を高め、「イノベーティブな風土」を醸成。
- スペシャリティ事業の成長を牽引する人財を計画的に育成。
- DXの推進による業務の効率化・高度化。

KPI	2024年度実績	2030年度目標
✓ 女性社員比率(国内連結)	16.0%	25.0%
✓ 女性管理職比率(国内連結)	5.8%	10.0%
✓ キャリア採用比率(総合職)(国内連結)	51.3%	-%
✓ 外国人採用(国内連結)	5名	-名
✓ 一人当たりの人財投資額(単独)	20.5万円	30万円

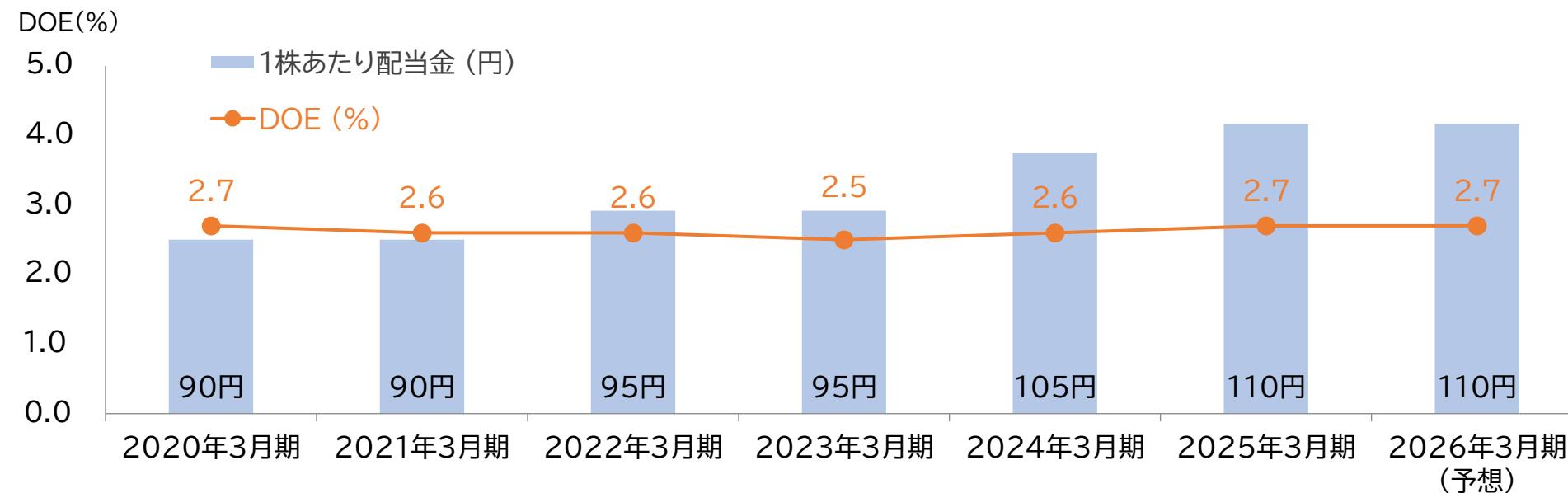
- 2030年のGHG排出量削減目標50%(2013年度比)(達成見込み)。
- 環境貢献型製品・技術の拡大。

KPI	2024年度実績	2030年度目標	2035年度目標
✓ GHG排出量50%削減(2013年度比)	32%減 (320万トン/年)	50%減* (237万トン/年)	70%減 (142万トン/年)
✓ 環境貢献型製品・技術の売上高比率	45%	60%	-%

* アンモニア・カプロラクタム・ナイロンポリマーの生産停止・縮小により2028年度65%減(166万トン/年)を見込む

→ ✓ 経営基盤を強化し、中長期にわたる持続的な成長を実現。

- 安定配当を基本方針とし、株主資本配当率(DOE)を2.5%以上と設定。
- 中期経営計画の進捗状況を見極めたうえで、後半3カ年には引き上げを目指す。



定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 樹脂・化成品セグメントの営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場(千葉地区)で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機、産機事業の営業利益にプラス影響。

● UBE株式会社

- 2026年3月期 通期 決算発表
 - 2026年5月13日 15:30
- 2026年3月期 通期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会
 - 2026年5月13日 18:15 ~ 19:00
- 2027年3月期 経営概況説明会
 - 2026年5月20日 10:00 ~ 11:30

● UBE三菱セメント株式会社

- 2026年3月期 第3四半期 決算説明会
 - 2026年2月17日 16:00 ~ 16:40

なお、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。



本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場等があります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用等を行うことはできません。